



学校だより

令和4年 2月9日 No.9
福岡市立東福岡特別支援学校
文責 校長 野口 信介

教育に関するアンケートへのご協力ありがとうございました。

昨年末に、本校の教育に関するアンケートを実施いたしました。今年度の回答率は、昨年度より3.9%の減とはなりましたが、全世帯数の79.6%という多くのご家庭にご回答いただきました。皆様のご意見は、今後の学校運営に活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

今年度は、コロナ禍における教育活動2年目となり、本校も学年・学級閉鎖を経験するなど、学習活動に多くの制限が課せられました。この現状の中、学校として何ができるのかを考え、今できることを大切にしながら児童生徒の個性伸長に向け取り組んでいるところです。

皆様の回答を見てみますと、学習指導、連携、健康安全については、A、Bの割合が90%以上となりました。本校職員の地道な取り組みに対する肯定的な評価をいただけたと嬉しく受け止めているところです。しかしながら、昨年度と比べると評価に変動が見られます。特に、困ったときの相談についてのポイントが下がっており、いつでも相談できる雰囲気づくり(笑顔)を絶やさないように心掛けたいと考えています。また、安全に配慮した指導や環境については、95.9%の肯定的な評価をいただいているものの昨年度より下がっています。安全で安心できる学校生活は教育活動の根幹にあたりますので、感染症対策を含め、事故や怪我の未然防止に向けてしっかりと取り組みたいと考えています。

開かれた学校づくりでは、昨年度の結果を受けて、HPやメールの活用、おたよりや連絡帳の記載内容の精選など、分かりやすい情報発信に取り組んでまいりました。そのことが皆様の評価につながっているのであれば嬉しく思います。一方、特別支援教育に関する情報の発信とHPの閲覧については評価が下がってしまいました。今年度は、コロナ対応のためにできなかった研修等が多々ありました。次年度は、コロナ禍でも行える研修方法などを検討し、特別支援教育に関する情報の発信にも力を入れたいと考えています。また、見ていただけるHPづくりにも努力したいと考えています。

自由記述欄にもたくさんのコメントをいただきました。コメントの多くは、教職員のモチベーションアップにつながる、日々の取り組みに対する温かいメッセージでした。本当にありがとうございました。

また、学習指導については、学校の指導の様子がわからないという声や個々の学習目標を上げてほしいという声などをいただきました。コロナ対応のために、家庭訪問及び懇談会、学習参観等に制限がかかったことも影響しているとは思いますが、保護者と学校のコミュニケーションなくして教育活動を語ることはできません。しばらくは、コロナ禍における教育活動が続くと考えます。今の状況に合った保護者と学校の連携の可能性をしっかりと探り、具体化したいと考えておりますので、これからもご協力をお願いいたします。

保護者アンケート		全 校				A+B	R2年度
項 目		A	B	C	D		
学習指導	1 教育目標の教育活動への反映	152	103	13	1	94.8%	95.2%
	2 支援計画・指導計画の授業への反映	156	100	11	2	95.2%	94.4%
	3 個に応じた、教材の工夫	165	91	10	1	95.9%	96.3%
	4 個に応じた、学習環境の工夫	159	96	13	0	95.1%	95.1%
	5 学校へ行くのを楽しみにしている	167	76	21	4	90.7%	92.2%
学校・保護者の連携	6 担任・保護者の指導や支援内容の共有	162	96	8	2	96.3%	95.5%
	7 おたよりや連絡帳、家庭訪問、個人懇談等で保護者と担任の連携	183	78	7	1	97.0%	96.3%
	8 困った時に管理職・担任・専科の教員などに安心して相談	164	79	22	4	90.3%	92.2%
健康安全指導	9 健康についての共有と適切な指導	180	82	6	1	97.4%	97.4%
	10 安全に配慮した指導や環境づくり	168	89	9	2	95.9%	98.5%
	11 安全衛生に関わる情報発信が適切	175	88	5	1	97.8%	98.1%
開かれた学校	12 おたよりやHPでの情報の発信	156	99	10	2	95.5%	94.4%
	13 行事や学習活動の説明がわかりやすい	149	105	11	2	95.1%	92.9%
	14 特別支援教育についての情報の発信	171	61	6	29	86.9%	92.8%
	15 本年度、HPを見たことがある	210	0	0	56	78.9%	80.5%

